

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個々の職員が常に教室内の環境整備について気に掛けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用人数に応じた適切な配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			適切に配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			利用者も職員もスムーズに動けるよう情報共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			職員全員で共有し、改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			顧問医師による評価指導を定期的に受けている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			必要な研修には積極的に参加している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に職員で会議をしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			利用者の特性や能力などの情報を得るために有効活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			教室内、他教室との連携を取って行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の希望にも寄り添いながら様々な活動ができるように準備をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇は創作活動や体操など課題を設けて取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者の個性や特性に寄り添ったサービスを提供している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に毎日ミーティングを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日もしくは翌日ミーティングを行い、職員間で共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援内容を記録し、各自の課題の検証や改善を行っている。

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを実施して行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインの基本活動に加えて、教室特色の支援も提供している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			教室内の適切な職員が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			送迎時に担任の先生との情報共有、お便りの確認等で連絡調整は適切に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			看護師、理学療法士の資格を持つ職員を中心に、関係機関とも綿密に連携を図っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			担当者会議などを通じ、相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		酒田教室としては、まだ事例がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要時に連絡を取り、意見交換を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			全教室で鶴岡ライオンズクラブ主催の海岸清掃活動等に参加。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			子ども部会への参加を通じ、個別の課題や地域への要望をお伝えすることができた。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者同伴の個別療育のため、共有はスムーズに行えている。必要時は面談やケース会議なども行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレントメンターとの意見交換を行い、支援を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時の説明、利用のしおりやパンフレット、ホームページなどで情報公開している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			個別療育の際などにお話を伺うよう心掛けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会を開催し、連携の支援ができています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合、迅速に対応している。適切に対応できるよう苦情申出窓口を設置し、職員間でも内容の共有や相談を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に1度、メグシ通信を発行し、活動報告や予定などを発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			社内研修も行い、個人情報の取り扱いには十分注意している。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用者の特性に合ったツールを利用し、意思疎通や情報伝達を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			プライバシー確保や安全保護の観点から、難しい面もあるが、予約をいただき、外部への見学などを積極的に受け入れている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			社内研修を行い、職員のマニュアル周知も行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1回、地震、火災、水害などの防災訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止の社内研修を行っている。社内でチームを作り、対応している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			やむを得ず身体拘束を行う児がいる場合は、保護者様にも説明を行い、計画書にも記載するよう取り組んでいる。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からの情報に基づき、個別に対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例を職員で共有し、環境改善を行っている。